



## 「口腔カンジダ症」

口腔カンジダ症は口腔内常在菌のカンジダ菌が異常繁殖して口の中に白い苔み  
たいなものがぼつぼつと見られる病気です。

### 「口腔カンジダ症の原因」

口腔内常在菌であるカンジダ菌(カンジダ・アルビカンス)という真菌(カビの一種)の感染で生  
じます。体の抵抗力(免疫力)のない幼児や高齢の方、抗アレルギー薬、免疫抑制薬、抗がん薬、ス  
テロイド薬の投与を受けている人や長期間の抗菌薬の服用などで抵抗力が下がった時、さらに  
口腔や義歯の清掃不良、液分泌低下なども関連して発症します。

### 「口腔カンジダ症の症状」

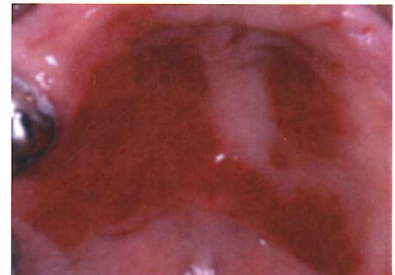
口腔に、ぬぐうと取れる白い苔状のものができる「偽膜性カンジダ症」と、白苔がなく粘膜が赤  
くなる「萎縮性カンジダ症」があります。萎縮性は飲食時に舌にヒリヒリとした痛みがあるのが特  
徴です。ほかに義歯の下の粘膜が赤くなる、両側の口角が切れる、苦味や違和感を感じるなどの  
症状があります。



「偽膜性カンジダ症・舌」



「偽膜性カンジダ症・口蓋」



「萎縮性カンジダ症」

### 「口腔カンジダ症の治療」

抗真菌薬のうがい薬、塗り薬、内服薬を使用しますが、それぞれの薬の使用方法をよく守ること  
が大切です。また、日頃から抵抗力を落とさないように健康に気をつけ、局所的には舌を主体とし  
た口腔清掃を心がけ、義歯の正しい清掃や管理、口腔の保湿や唾液分泌を促す口腔ケアが重要  
です。ステロイド軟膏の局所塗布は症状悪化の原因になります。

### 「病気に気づいたら」

細菌学的な検査、他の疾患との鑑別、全身状態などを診る必要があります。抗真菌薬を使用する必  
要がありますので、口腔外科などで治療を受けてください。全身状態が悪い場合は、口腔カンジ  
ダ症を放置することで肺炎などの深部感染症を起こす危険が高まるため、注意が必要です。

帯広徳洲会病院の歯科口腔外科では、旭川医科大学から口腔外科の専門医が、  
毎月2回出張し、口腔粘膜の疾患を専門的に診察しますのでご利用ください。



監修 歯科口腔外科  
旭川医科大学名誉教授  
松田光悦

帯広徳洲会病院

〒080-0302 河東郡音更町木野西通14丁目2-1  
TEL(0155)32-3030 FAX(0155)32-3522